

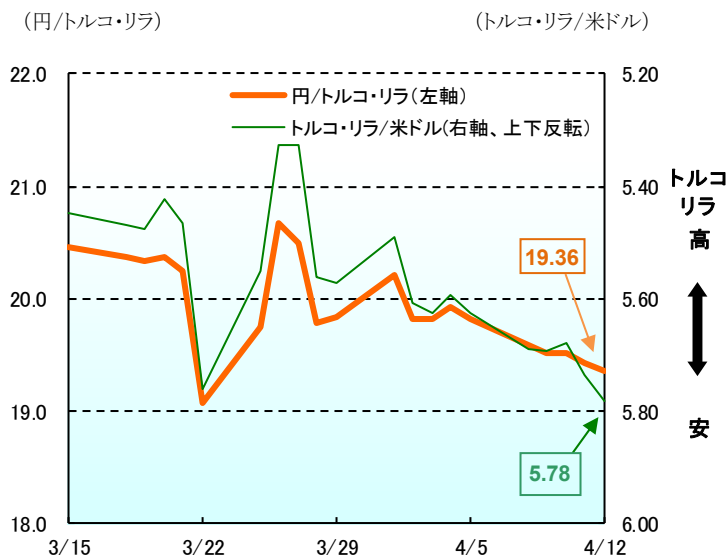
【2019年4月6日～2019年4月12日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は上昇しました。

統一地方選挙の結果について、与党AKP(公正発展党)はイスタンブール、首都アンカラ、イズミルで敗北しました。エルドアン大統領によるイスタンブールの一部投票所での再集計の要求は選挙管理委員会に拒否されました。しかし、AKPからイスタンブール市長選のやり直し要求がなされるとの報道が出るなど、政治面で不安定さが燃り続けています。また、トルコ政府はロシアから対空ミサイルシステムを調達する方針を固持する報道が続き、対米関係の悪化も懸念されました。トルコ・リラは対米ドル・対円ともにじりじり下落しました。国債は政治的・地政学的リスクが懸念されて売られたことから、金利は上昇しました。

【トルコ・リラ 為替推移】(2019年3月15日～2019年4月12日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

先週の国際市況は、注目イベントであったECB(欧州中央銀行)理事会や英国のEU(欧州連合)離脱問題を通過しつつ、リスク選好的な動きとなりました。一方、トルコ資産は自国の政治面・地政学的要因でリスク回避的に売られました。トルコ金融当局による市場への介入は警戒されるため、トルコ・リラが急激に売られるとは考えにくいものの、積極的に買われる材料も乏しく、今週も大勢は様子見しつつ、下落リスクに警戒が必要になると考えます。

【トルコ 金利推移】 (2019年3月15日～2019年4月12日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>